

★本日の出席者 55名中33名（欠席22名）

★先週の出席率 67.35%

★点 鐘

★会 歌 四つのテスト

★お食事

★会長挨拶 渡辺 雅志さん

こんにちは。お昼前ですかねニュース速報で、新型コロナウイルスでクルーズ船に乗っていた80代の男女の方が亡くなったと出ていました。この先、どこかで治まってくれないと困ります。

いつものロータリーの話をしたと思います。新しく入った方はご存じ無い方もいるかもしれませんが、栃尾出身の田中作次（たなか さくじ）さんというRIの世界の会長になられた方がおられまして、新潟県の地区にも講演等いらして話を聞いた覚えのある方も沢山いると思いますけども、その田中作次さんの卓話が載っていましたので 紹介させていただきます。

『私が小学生の頃、週に一度、母と私は、市場まで往復40キロの道を、リヤカーを引いて野菜を売りに行きました。その頃は、日本人以外の方々とは、一度もお会いしたことがなく、私が生まれた村が私の全世界でした。ですから、私はいつも、旅することを夢に見ておりました。遠くの町や国を夢見ながら、どんな

所なのだろうと想像していました。それ以来、幸いにも、頻りに旅をする機会があり、自分で思いもよらないほど、世界のあちこちを見ることができました。しかし、ロータリーでの経験ほど私の視野を広げてくれたものはありません。ロータリアンになるまで、私の目に入っていたものと言えば、仕事、家族、顧客、競争相手など、身近なものばかりでした。旅に出ても、お決まりのものしか見ていませんでした。その背景にあるもの、自分と関わりがないと思うものには、気にも留めていませんでした。

しかし、私は事業拡大の為、東京から埼玉県東の八潮市に本社を移しました。それから間もなく八潮RCができる事を知りました。これは今から39年前の話です。（この話は前の話なので、もう少し前の話になります）当時はロータリーという組織の意味も内容も全く知りませんでしたので、その頃のイメージは、駅前のロータリー広場で私たちが何かをするのかと思っていました。ところが間もなく東京から移ってきたばかりの私に「田中さん、ロータリーを作るので貴方も参加してください。」と言われました。その方のお名前は関 孝友（せき たかとも）さんという地元の方だったので、この地域の為になる組織や団体ならば進んで参加をすべきという考えで了承しました。この様な経緯を経て八潮ロータリー・クラブに入会しました。それから1～2年間は馴染みずらにただ出席だけをしていましたが、その後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。私は、その日から自分の生きる目的や人生の考え方が少しずつ変わっていききました。収入や、売り上げを増やすことや、自分の会社を他の会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっとよい、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったのです。そしてその為、他の人たちの役に立つこと、そして地域社

会の発展に少しでも寄与することが、私にとって人生で最も大切だと思うようになりました。さらに私は、どんな些細なことでも、地域や世界社会で困っている人を助けることがいずれは平和につながることに気づきました。

ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに、最も必要とされている地域で応えることができます。

そして、友情、つながり、思いやりといった、私たちの心のニーズにも応えることができます。さらに、国や民俗間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」を、つまり、互いを理解し合う後押しをしてくれるのです。ロータリーの奉仕を通じて、私たちは、大きな問題のように見えることでも、力を合わせれば、すぐに解決できることを学びます。人を思いやることを学び、自分と違った境遇の人々と知り合うことで、人はみな同じであると理解できます。ロータリーの奉仕を通じて、私たちは、何かを達成しようとするなら、対立より協力を選ぶのが得策であることを知ります。ほかの人の長所と短所、両方を尊重することを理解します。そして、どんな人からも必ず得るものがあり、教えられるものがあることを学びます。私は、「超我の奉仕」は単なる標語ではないと考えております。それは、誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする、生き方を示していると思います。

ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけではなく、社会全体のために考えます。「超我の奉仕」という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。それは、「平和」をどのように定義するにしても、私たちは奉仕を通じて、平和をもっと現実に近づけることができるからです。また、「超我の奉仕」は、人はみな自分だけでは生きていけないということを教えてくれます。人との関わりのない人生は、空しく、つまらないものですが、家族、地域社会、そして人類全体における自分の役割を常に意識して、つまり、人のために生きること、この世界における自分の役割がはっきりと見えてくるのです。1985年以来ロータリーは、ポリオ撲滅の最先端に立ち世界のロータリアンの力強い支援の下に戦って参りました。そして間もなく今世紀における快挙を成し遂げようとしていると同時に私たちはロータリアンであること誇りに思っています。大規模な奉仕プロジェクトを行おうとするとき、その資金が確保できるのは財団があるからです。ロータリー財団は、どのクラブにも平等に機会を与えてくれます。資金が沢山あるところではなく、活動が一番必要とされているところにリソースを提供しながら、世界中の人々に、健康・読み書きの力・そして希望を与えてきました。皆様が、ロータリー財団、そして世界の為に注いでおられる熱意と資力に心より感謝いたします。皆様が、財団のモットーが示す通り、世界で良いことを行い、ロータリーという組織に必要な燃料を与えてくださっています。皆様のおかげでポリオのない世界、平和な世界、それにまた一歩近づけることができます。』という卓話が載っていました。ロータリーのHPを見ますと、つい最近ビルゲイツ財団とロータリーがポリオの為に協力をしようということが継続されると決まったようです。ロータリーが出したお金の2倍を盖茨財団が出して、あと少しでポリオ撲滅と頑張っているようです。今日は以上です。

★幹事報告 副幹事 桜井 誠さん

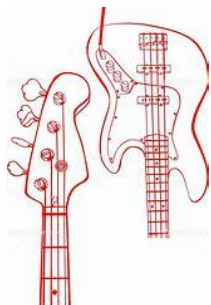
・地区行事 2月15日（土）於；万代シルバーホテル

第2回地区財団セミナー資金管理セミナーに、次年度会長 石黒 俊之さんが出席されました。

・訃報 地区ガバナー大谷光夫様（高田 RC）のご令室 大谷みえ子様が2月14日に逝去されました。

★卓話 坂内 隆徳さん

「自己紹介～生い立ち・稼業・趣味」



★点 鐘

次回例会 3月5日(木)

お祝いの日

理事会

❖ 本日のメニュー (2月27日)

和食

丼物：鮪の漬丼

蒸し物：茶碗蒸し(卵・海老)

椀：三平汁

香の物：長芋たまり漬

水菓子：清味オレンジ

コーヒー

